

トーク&トーク

talk & talk



小山 進さん

■菓子職人

こやま・すすむ
1964年、京都市生まれ。調理専門学校卒業後、83年に神戸市の「スイス菓子ハイジ」に入社。テレビ番組のケーキ選手権で優勝。2003年、三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開店した。

子どもの頃から細かなことが気になり、心配性だったんです。昆虫図鑑を親に買ってもらうと、自分が捕ったものと、図鑑との違いをチェックしました。そんな細かなところが気になるんです。全く虫が捕れない日があるんですが、エスコヤマを運営するためにの資質をつくって

心配性だから世界一になれた

新しいもの創る原動力

れたのかもかもしれません。普段の生活も、ランドセルの荷物を何度も外に出して確認しないと次の日を迎えられない子でした。大人になってもそう。テレビ番組に出るときも、デレクターさんに対して質問が多い。心配なんです。ちゃんと放送されるだろうかと。心配があるから、いっぱいお菓子を作ってテレビ局に行きます。その2割くらいしか使わないのに。でも、何かがあったときに備え、ちゃんとしておくんです。チョコレートのコンテスで世界一になっても喜ばないんです。去年の自分の昨日の自分よりも、今日の方が良くなっていると思うからです。それがいつか絶対あかんようになるだろうっていう心配心もあるから、新しいものが作れるんです。心配性っていうのも悪くはありません。想像力を働かせて、着地がうまくいっていかないように考えることなんです。心配性は一見無駄なことですが、すごいプラスがあるんです。(6月19日、芦屋市民センターであった講演会で)

(まとめ・尾藤央一)

名前【 】

① 菓子職人の小山さんは、子どもの頃から、どのような性格だったと言っていますか？

② 小山さんは、その性格をどのように思っていますか？それがわかるところをマーカーで線を引きましょう。

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

④ 上で書いた感想を友だちや家族で話し合ってみましょう。

NIEワークシート／小学高学年～中学生／国語、道徳、朝NIE